



製品仕様書

LED屋内外照明
開発・製造・販売

www.goodgoods.co.jp
www.goodtoku.com

品 番	GD-40C
品 名	円柱型40W作業灯
JAN:4571461862101	

1. 機能説明

1.1 製品スペック

1.2 寸法図

1.3 配光曲線図

1.4 照度分布図

1.5 部品図

2. 取付

2.1 取付方法

2.2 取付注意事項

3.故障かな？

4.LED製品使用上のご注意



1.1 基本仕様データ

■仕様	
品名	円柱型 充電式 LED作業灯
型番	GD-40C
JAN コード	4571461862101
消費電力	40W
明るさ	4000lm ※1
照射角度	360°
光源数	LED チップ×192 個
発光色	昼白色
入力電圧	AC100-240V
防水等級	IP65（生活防水）
点灯モード	3 段階（Hi・Mid・Lo）
点灯時間	Hi：約 3 時間、Mid：約 6 時間、Lo：約 12 時間 ※2 （※赤ランプ点滅する場合は早めに充電を行ってください）
充電時間	約 5 時間
指示ランプ	充電中：赤ランプ点灯 充電完了：緑ランプ点灯
使用温度	-20°～60°
バッテリー容量	18.5V 4.4Ah
電源コード	約 1.5m
サイズ	約Φ880*H1120mm（最大）
重さ	約 5.1kg（本体）
材質	アルミニウム合金 + PC
セット内容	投光器本体、ショルダーベルト、収納バッグ、保証書、取扱説明書

※1.満充電時の明るさです。バッテリー残量により暗くなることがあります。

※2.点灯時間の各数値は実測値です。使用環境などによりこの数値は異なる場合があります。

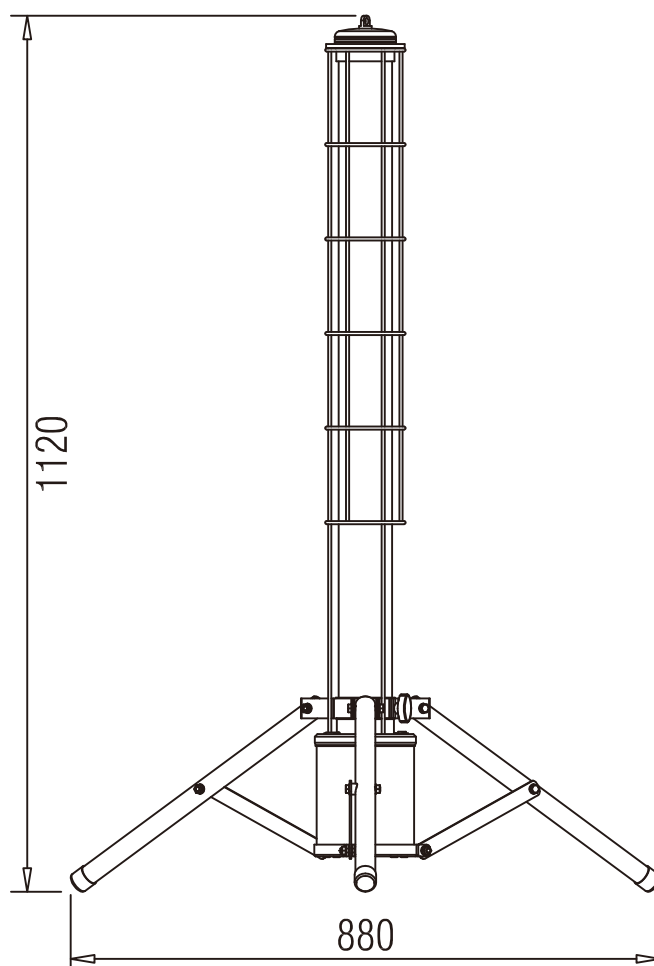
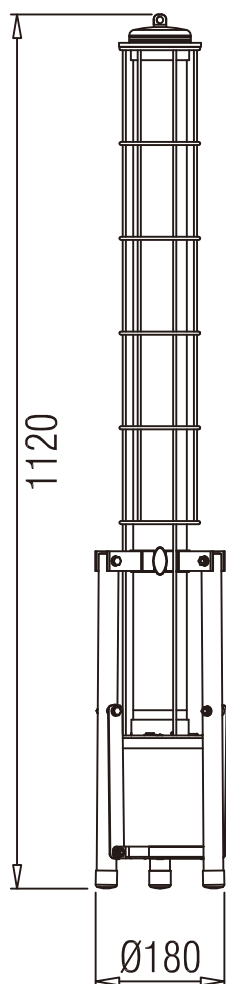
※充放電サイクルを500回繰り返すと、バッテリー容量が約75%～60%まで減少します。

実物写真

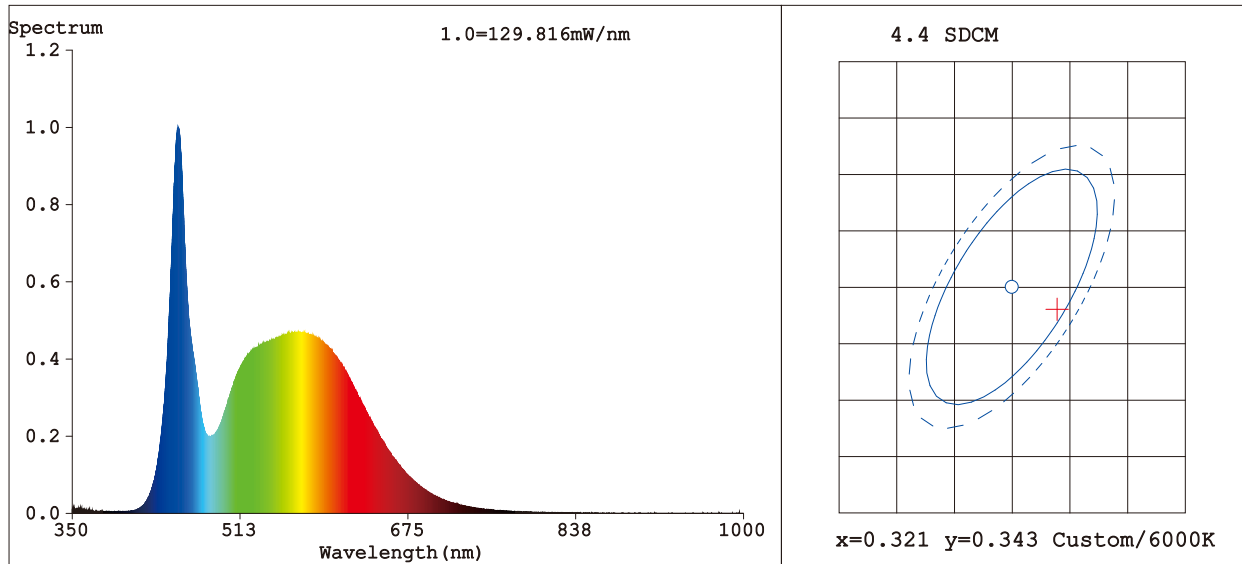


1.2 本体のサイズ図面:

表面(イメージ図)



1.3 配光曲線図面



Color Parameters:

Chromaticity Coordinate: x=0.3249 y=0.3405/u'=0.2019 v'=0.4761

CCT=5839K(Duv=0.0031) Dominant WL:Ld =503.2nm Purity=2.6%

Ratio: R=14.1% G=80.9% B=5.0% □ Peak WL:Lp=452.5nm FWHM=19.4nm

Render Index: Ra=82.1 AvgR=74.5

R1 =80	R2 =87	R3 =91	R4 =81	R5 =81	R6 =82	R7 =87
R8 =68	R9 =4	R10=69	R11=80	R12=55	R13=82	R14=95 R15=76

Photo Parameters:

Flux = 3891 lm Eff. : 120.11 lm/W Fe = 12.29 W

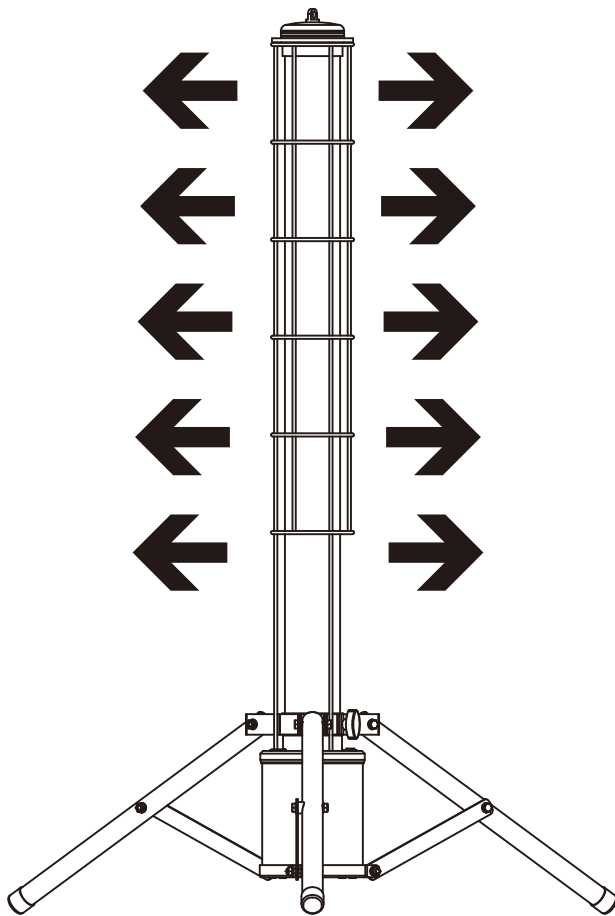
Electrical parameters:

V = 36.000 V I = 0.9000 A P = 32.40 W PF = 1.000

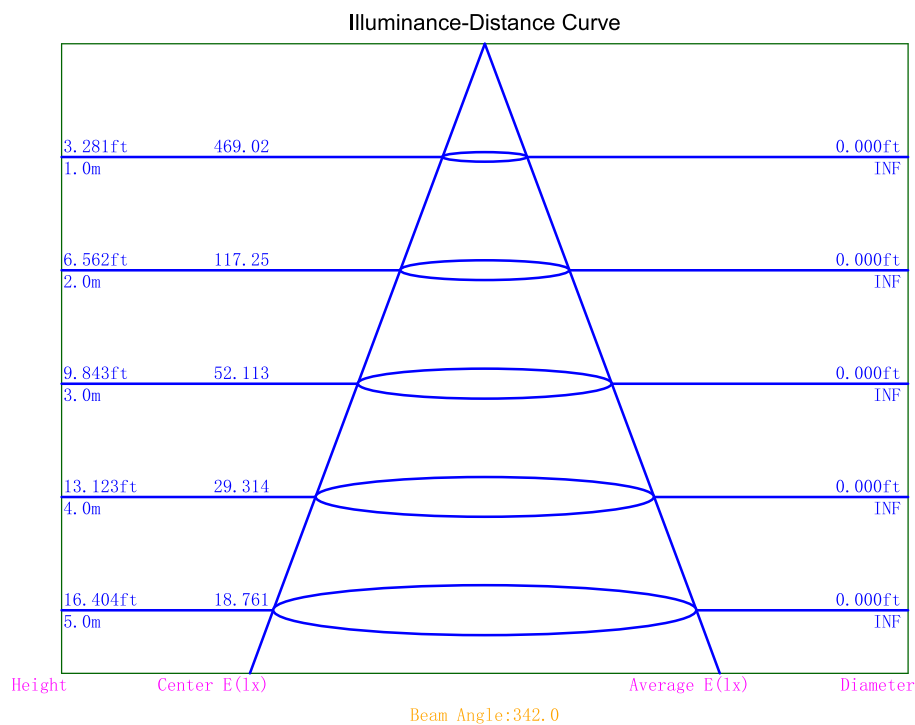
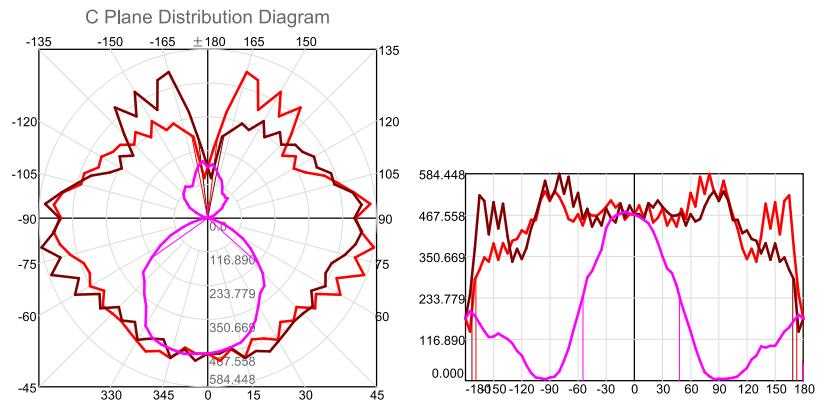
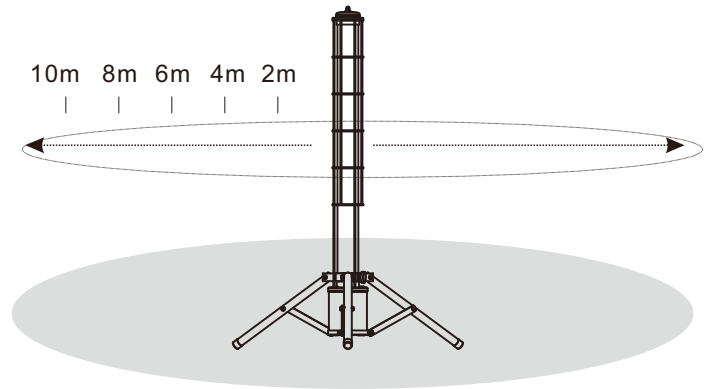
LEVEL:OUT WHITE:ANSI_5700K

Status: Integral T = 54 ms Ip = 35027 (53%)

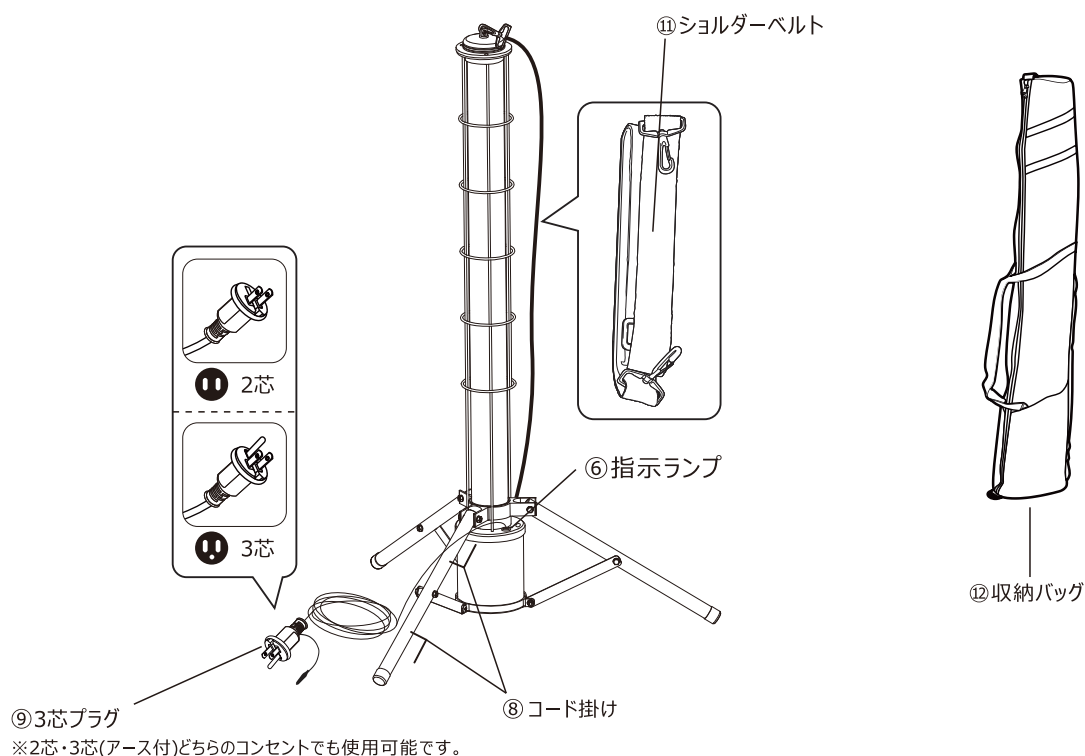
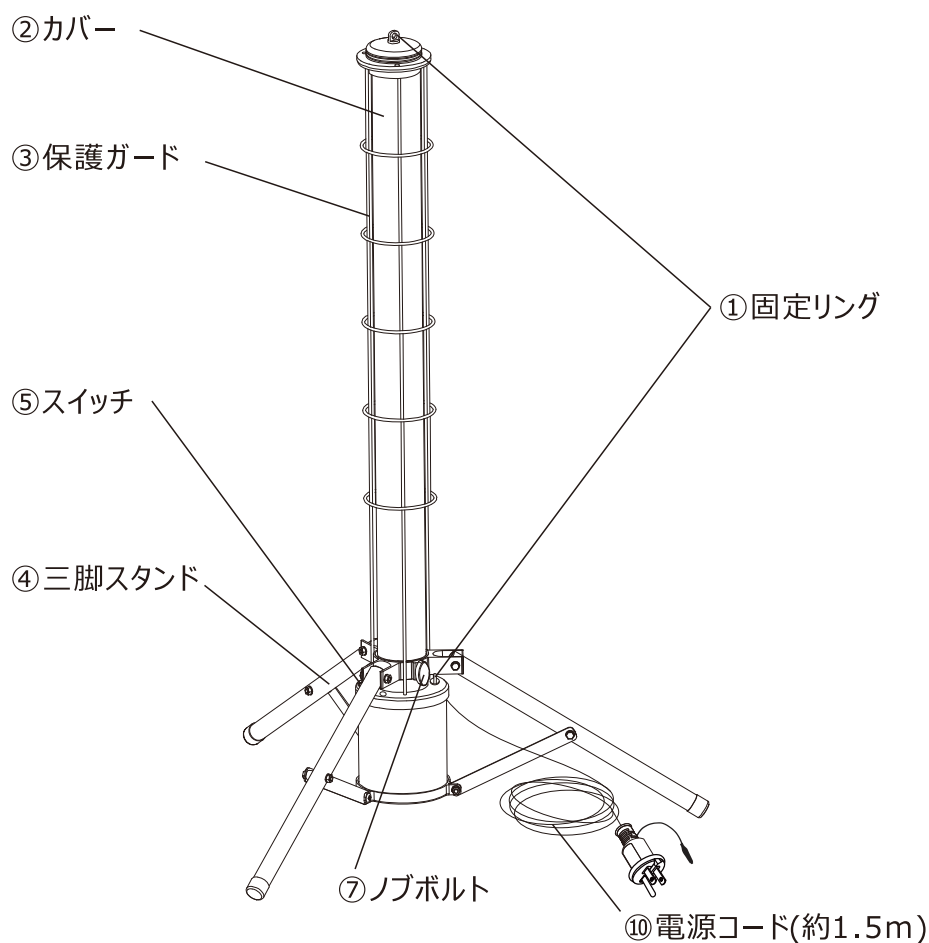
1.4 照度分布図面



360°配光



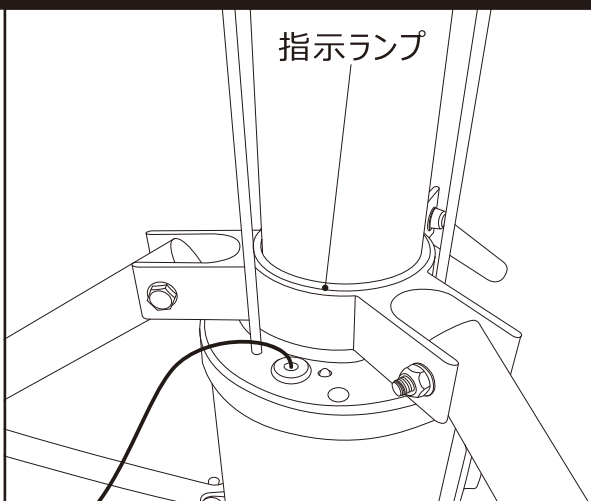
1.5 部品図



2.1 取付方法

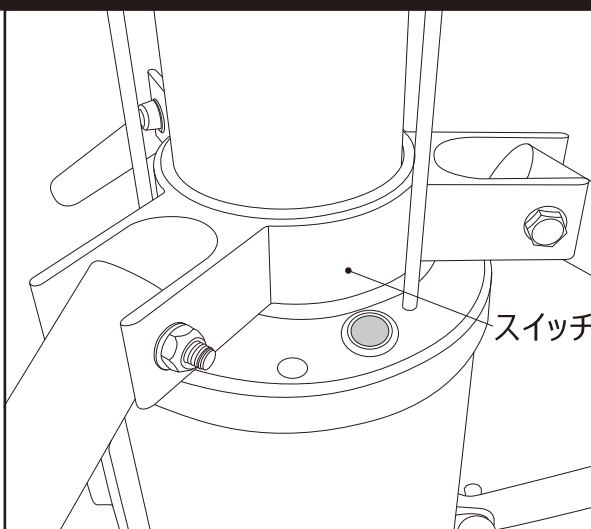
■ 充電方法

- ① 電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込む。蓄電が自動的に開始されます。
- ② 充電中は指示ランプは赤が点灯し、蓄電が完了すると緑が点灯します。
(通常蓄電時間：約5時間)



■ 点灯方法

- ① 電源コードのプラグを電源コンセントに差し込んで十分充電を行う。
- ② 電源コードのプラグを電源コンセントから外す。
- ③ スイッチを押す
(電力不足の場合は必ず①②を行ってからスイッチを押す。)

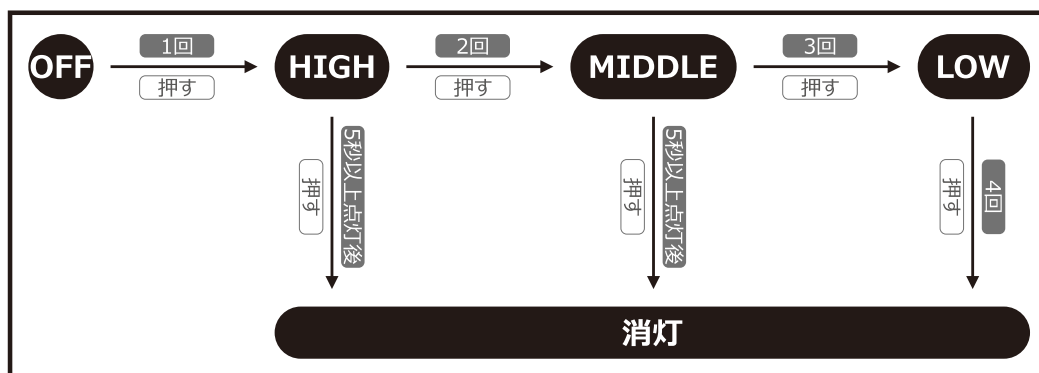


■ 3段階調光

スイッチ1つで3段階切り替え可能

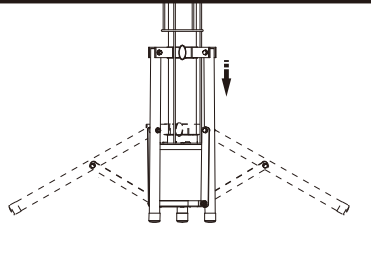
HIGH⇒MIDDLE⇒LOW⇒OFF

スイッチを押すとHiモード点灯し、もう一度押すとMidモード点灯し、さらにもう一度押すとLoモード点灯し、最後もう一度押すと消灯します。



■ スタンドの広さを調節方法

- ①三脚固定用ノブボルトを緩めて、三本の脚を安全に広げます。
- ②スタンドが安定したら、三脚固定用ノブボルトをしっかりと締めます。



■ ショルダーベルトの取付方法

ショルダーベルトの両端のカラビナフックをライト本体の上下にある固定リングに引掛ける。



- ※必ず、安定した水平な場所で、転倒のおそれがない状態で使用してください。
- ※転倒防止の為、三脚を最大域まで広げてのご利用をお勧め致します。
- ※ノブボルトをしっかりと確実に締めてください。

2.2 取付注意事項

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止する為、必ずお守りいただく事を説明しています。



危険



火気禁止

- 火気を近づけてはいけません。
製品が発火の原因になります。



- 分解、加工、加熱、水などの液体へ入れてはいけません。
故障、発火の原因になります。



警告

■ 異常があったときには、使用を中止してください。



- ・煙が出たり、異常なおいや音をする。
 - ・内部に水や異物が入った。
 - ・電源プラグが異常に熱い。
 - ・本体や電源コードやプラグが破損した。
- そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
煙・臭い等の異常を感じたら速やかに電源を切り、電気屋さんにご相談ください。

■ 分解・改装・部品の変更は行わないでください。

分解禁止

落下・感電・故障・火災などの原因になります。

■ 機器内部に水をかけたり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電・けがの原因になります。

※ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜いて使用を中止します。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

■ 取付の際は、器具各部にヒビ、割れ、欠け等の異常がないことをご確認のうえご使用ください。

落下の原因になります。

■ 照明器具の電線露出口が水平より下向きになるように取り付けてください。

照明器具の電線露出口が水平より上方向になるように取り付けますと、照明器具の電線露出口から器具内に雨水が浸入する恐れがありますので、逆向き取付はしないでください。

※壁付けなどで水平に取付ける場合は、雨水が浸入するおそれがありますので、照明器具の電線露出口にシリコンコーキングなどの防水処理を行ってください。

■ 特別表記のない製品を除き、下記の場所では使用しないでください。

- ・振動・衝撃・腐食性ガス・可燃性ガスの影響を受ける場所
- ・湿度85%以上の場所
- ・室温35℃以上の場所
- ・温度の高くなる物（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近く
- ・積雪、氷結のおそれのある場所
- ・冠水の恐れのある場所
- ・塩害が発生する地域

錆・腐食などが発生し、故障・落下・感電・変色・変形・火災などの恐れがあります。

■ 器具や部品の取扱いは丁寧に行ってください。

落下・破損の原因となります。

■ 適合接続金具を使用して、質量に耐える場所へ確実に取り付けてください。

取付けに不備があると、器具落下の原因となります。

■ 必ず定格の家庭電源で使用してください



定格電圧外の電圧で使用すると、故障・火災の原因となります。

■ 前面ガラスのお取扱いには十分ご注意ください。



衝撃が加わると、破損の原因となることがあります。

■ 前面ガラスなどの部品類が破損した場合はそのままの状態で使用しないでください。



火災・感電・落下などの原因になります。

■ 温度の高くなる物（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。



過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
過熱して、発煙や発火、LEDチップの寿命短縮の原因となります。

■ 製品を布や紙などで覆わないでください。



火災・変色・変形の原因となります。

■ 濡れた手で器具を取り扱わないでください。



感電・故障などの原因になります。

■ 電源プラグは必ず確実に接続してください。



差し込みが浅かったりグラついているとショート・火災・感電・故障などの原因になります。

■ 一般屋外型(防雨型)です。それ以外の場所や冠水・浸水のおそれのある場所では使用できません。(防水型ではありません。水中では使用しないでください。)



感電・火災・過熱・発煙などの原因になります。

■ ランプ交換や保守点検の際は、必ず電源を切って、器具が十分に冷えてからおこなってください。



感電・やけど・故障などの原因となります。

3.故障かな？

故障かな？と思ったら。

●修理、サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。

■ 故障かな？

症状	原因	処置
点灯しない	電源ボタンをON にしていない	電源ボタンをONにして下さい
	差込プラグの挿 しが緩い	電源コードの差し込みプラグをコンセントに しっかりと差し込んで下さい。
	充電不足	バッテリーを満充電にしてください
	スイッチの不良	新しいスイッチと交換する
	内蔵バッテリーの不良	新しいバッテリーと交換する
	バッテリーの劣化	以前よりも、半分ほどしか点灯しない場合は、バッ テリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する
充電しない	電源に接続されてい ない	電源コンセントにしっかり接続されているか確認す るか、別のコンセントを試してください
	バッテリーの温度が高 い、または低い	バッテリーの温度を、常温にしてから充電してくだ さい。
	バッテリーの劣化	以前よりも、半分ほどしか点灯しない場合は、バッ テリーの寿命です。新しいバッテリーと交換する

本製品は、電子基板の回路分割設計により、充電と給電を同時にご使用頂けます。
しかしながら、ライト点灯中(給電中)は低速充電となります。
充電をお急ぎの場合は、ライトを使用せず充電だけを行って下さい。

4.LED製品使用上のご注意事項

現代の新しい光源【LED製品】には、従来の光源には無い特性が多数あります。
エコ・省エネである大きな利点もその特性の一つですが、ご使用において注意が必要な点もございます。
下記の注意事項をご一読いただき、よくご理解の上快適にご使用ください。

■バッテリーについて

**本製品は、電子基板の回路分割設計により、充電と給電を同時にご使用頂けます。
しかしながら、ライト点灯中(給電中)は低速充電となります。
充電をお急ぎの場合は、ライトを使用せず充電だけを行って下さい。**

リチウムイオンバッテリーの使用寿命は、使用方法や環境が大きく影響します。
頻繁な充電や、過充電・過放電を繰り返さないようご注意ください。

・バッテリーは使用しない状態でも少しずつ放電していきます。ご使用前、ご使用後は、必ず充電してください。

※放電状態で放置していると過放電になり、バッテリーが劣化して充電ができなくなります。一ヶ月に一回、バッテリーの状態を確認し、半分ほど充電した状態を保ちながら保管してください。

・バッテリーは特性上、充電された状態でも、低温状況では使用時間が短くなります。

・バッテリーを充電する時は、事前に放電したり使い切る必要はありません。

・充電中や使用中は、バッテリーが温かくなることがありますが、異常ではありません。

・低温または高温の場所で充電すると充電できなかったり、満充電ができなかったりすることがあります。

・規定の電源で充電してください。他の電圧での充電は止めてください。

他の電圧での充電は、重大な事故の原因となり、非常に危険です。

・充電中は、そばを離れないでください。必ず、近くで充電し、可燃性のあるものを避け、安全な場所で充電してください。

・充電に適した温度は0～45℃です。

0℃以下、45℃以上になると、バッテリーが充電されない場合があります。

・一ヶ月以上は、長期保管となります。定期的に、点灯確認してください。

長期保管の際は、バッテリーを半分ほど充電した状態で保管してください。

・ライトは、高温多湿の場所を避けて保管してください。バッテリーの劣化に繋がります。

■ 使用上の注意

LEDにはばらつきがあるため同一型式製品でも発光色及び明るさが異なる場合があります。
予めご了承ください。

安全上、LEDを直視しないでください。目に悪影響(失明、視力低下)をおよぼすおそれがあります。
お手入れの際には、必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。

■ LED照明としての寿命

LED照明には多数の精密部品が内蔵されています。
そのためこれらの部品の経年劣化、周囲環境温度、湿度、連続点灯時間などの使用環境により、
LED照明製品としての寿命に影響が与えられます。
※周囲温度が高い場合や、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

■ 設置条件について

周囲環境温度が高い場合、器具周辺に空気の流れが無い場合や、直射日光が強く当たる場合などは短寿命の原因になります。

器具放熱のため、器具周辺に空気の流れが常にあることが必要です。

周辺温度が使用可能な温度範囲内であっても、その温度の高温域における使用時間が長い場合短寿命の原因となります。

一般照明器具同様、5℃～35℃内でのご使用を推奨致します。

LED照明間の間隔が十分に取れていない状況や密閉された空間、照明全体に空気の流れが常にな
い場所への設置は避けてください。

安全にご使用頂くために定期的な点検や使用環境の整備などにより、照明の状態維持が必要不可欠
です。

屋外使用が可能な製品の場合は、直射日光が当たらない状態、環境の温度が急激に上がらない状
態、照明周辺の空気が常に流動している環境を前提に設計していますので、これらの条件が整うことが
必要不可欠です。

湿度の高い環境、浴室やサウナ、また、塩素を多く含む水滴がかかる可能性があるプール・噴水近くな
どの環境、海辺など塩害の危険性が高い場所、積雪・凍結などで温度変化が激しい場所などは設置に
制限、もしくは設置できない場合があります。

■ 器具の放熱について

LED照明の部品の中でもLED電路基板などは点灯中は発熱状態となり、照明全体も発熱されます。この発熱を効率よく放熱することがLEDの寿命に大きく影響しますので、使用環境、設置状態、使用状況には十分な配慮が必要です。これらの観点からも、器具同士が近接した状態、密閉された空間、器具周辺空気の流動がない空間などでの使用は照明寿命の短縮へ大きく影響します。

■ 点灯条件について

点灯条件は、周囲温度30℃以下において、1回あたり連続点灯最大10時間が最適と言えます。長時間の連続点灯は著しい寿命の低下につながります。100%輝度（明るさ）の状態は、各LEDに対する負担が最大限になるため長時間及び長期間における連続点灯はLEDの寿命を著しく縮めることになります。長期間使用の為、LED照明の連続使用時間は一定時間を超えないように配慮することも大切です。

電源のON/OFFを繰り返す行為は、かえって寿命の短縮に繋がります。電源をONにした瞬間の消費電力が高だけでなく、LED照明に大きな負担がかかります。電源の頻繁な切替はしないよう、配慮下さい。

■ LEDによる色褪せについて

紫外線をほとんど含まないLEDの光は、被照射物の色褪せをさせないと思われがちですが、可視光により被照射物が色褪せすることがあります。

- LEDのように紫外線をほとんど含まない可視光光源でも、被照射物の色が薄くなったりする色褪せや変色が発生することがあります。

- LEDによる色褪せの程度はハロゲンランプとほぼ同等以下ですが、照射する明るさ(照度)に比例して色褪せは起こりやすくなります。

- 紫外線による色褪せは色が全体的に薄くなる傾向にありますが、可視光による色褪せは一部の染料にのみ色褪せが生じ、顕著な変色を伴う場合があります。

- 色褪せを軽減する為には、なるべく被照射物との距離を離したり、被照射物への照度を下げるのが有効です。さらに長時間一定箇所に照射しない等の注意が必要です。

また、光源の色温度が高いほど色褪せしやすい傾向にありますので、極力色温度の低い光源(電球色など)を使用することも同時に効果があります。